



調布市は、令和7年4月1日に市制施行70周年を迎えます



令和7年(2025年)
No.1783

2/20

市報

ちようふ

CONTENTS(主な内容)

給付金の支給	3
1~3月は若者の悪質商法被害防止 キャンペーン期間	6
休日診療当番医・相談案内	11
春の深大寺周辺のイベント	12

福は内！

急げ～！

鬼は外～！

よかったあ

保育園・幼稚園で いっしょに 遊びませんか



☎保育課 ☎042-481-7132

各園の地域交流事業と園庭開放は2面をご覧ください ➡

手をつなぐ樹 459



信用を保つには

「浮利を追わず」とは、ある企業グループの経営理念の一つで、事業活動を展開するにあたって、決して目先の利益や安易に得られる利益にのみ目を奪われてはいけない、という意味だとされる。

儲かりそうな話に、なぜすぐに飛びついてはいけないのだろうか。ヒントは、その浮利の戒めの条文の前条にあるようだ。そこには、「営業は、信用を重んじ確実を旨とし」と記されている。つまり、利益を追求するあまり、あとさきを考えずに軽々しく儲け話に乗ることに、結果としてかきめにも企業としての品格を疑問視され信用を失うことがあるのではない、ということになるだろうか。

そう考えれば、これは単に商取引についてのみではなく、人生訓として拳拳服膺すべき教えではないかとも思ってしまう。

ただ、実際に森羅万象さまざまな事象に関して、この言葉が注意を喚起するような適切な対応を常にとることは簡単ではない。長い人生の中で、自分が携わる仕事や公私に渡り発生する人間関係がいろいろな意味で健全かどうかをそれらの行為が発生した時点で瞬時に判断することなどは誰にとっても至難の業だ。

私自身も恥ずかしながら、古希を過ぎたこの歳でもなかなか定見を持ち得ない。それ故に、自らの行いを絶えず反芻し、必要とあらば躊躇なく軌道修正する姿勢だけは保ち続けたいと思っている。

調布市長

長友貴樹



◀配布中止
連絡フォーム

市報ちようふは、
市庁でもご覧いただけます

